

ご挨拶

教えてドクター！ 泌尿器科

診療科のご紹介 眼科
リハビリテーション室

連携医療機関のご紹介



vol.83
2023.8

医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570
<https://takanawa.jcho.go.jp/>

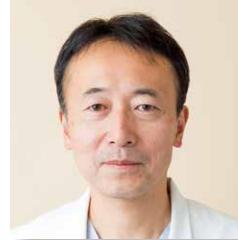
病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

地域医療における循環器内科の役割

JCHO東京高輪病院 副院長 山本 雅人

やま もと まさ と
山本 雅人



循環器内科の山本です。この地域で循環器診療に携わらせて頂いてから7月で19年となります。その経験から当院がお役に立てることを考えてみました。

- ①救急対応: 急性心筋梗塞を含む急性冠症候群に対するカテーテル治療は365日ほぼ対応可能です。また、高齢化社会に伴い急増している慢性心不全患者さんの急性増悪も常に対応します。その他、頻脈性不整脈に対する緊急対応(薬物的な停止或いは電気ショック)、徐脈性不整脈に対して一時的或いは恒久的なペースメーカー植え込みも行います。
- ②医院・クリニックで胸痛を訴えて来院された患者様に対する対応: 複数の動脈硬化リスクを有する患者様が胸痛を訴えた際に、診察と心電図のみで「大丈夫ですよ」と言って帰宅して頂くのはなかなか難しいかと思います。心疾患除外を目的として動脈硬化評価も併せてご紹介頂けると幸いです。
- ③高血圧・脂質異常・糖尿病などの生活習慣病で、医院クリニックに通院されている患者様の動脈硬化を評価することを考えています。動脈硬化の進展などを予防する目的で、生活習慣病を治療するわけですが現時点で動脈硬化がどの程度なのかわからないことが多いと思います。②でお話ししましたように非典型的胸痛でも、ご紹介頂き、心臓評価だけでなく頸動脈エコーヤ CAVI/ABIなどの動脈硬化評価まで行うことで生活習慣病の指導や治療に濃淡をつけられるのではないかと考えています。また、動脈硬化外来も利用して頂ければと思います。
- ④上記の患者様の中には、心疾患や脳卒中のリスクを高める睡眠時無呼吸症候群の方が多く含まれています。そこも評価していきたいと考えています。

その他、末梢血管インターベンション(PPI)や、末梢静脈挿入型中心静脈カテーテル(PICC)挿入にも力を入れております。今後とも宜しくお願い致します。

婦人科就任のご挨拶

～医師として大切にしたいこと～

このたびご縁をいただき、東京高輪病院に勤務させていただくことになりました。研修医の期間を除き、長い間婦人科悪性腫瘍の診断、治療(手術、抗がん剤治療)に携わってまいりました。

私が医師として大切にしたいことは、患者様が治療を受けるにあたって何を望んでいるかを理解することです。現在、疾患の治療はガイドラインに沿って合理的に行なうことが推奨されております。しかしそれは患者様の思いと異なる場合があり、必ずしも受け入れられないことがあります。例えば、卵巣がんで大腸を合併切除し人工肛門を作れば治癒率が高まるわからっていても、拒否される方がおられます。またリンパ節を郭清すれば治癒率が高まるのに承諾されない方がいらっしゃいます。患者様にとって治療に悔いがあってはいけないし、本人が納得して治療を受ける必要があります。私は治療の選択にあたって、ガイドラインではこうだからこうしないといけないと説明するのではなく、ガイドラインを基本にしつつ、患者様の人生観を考慮し、いくつも治療の選択肢を検討することが最も大切と考えています。

「寄り添う医療」という言葉をよく耳にします。人は病気になった時、自分の体の心配だけではなく、治療にかかる費用、将来仕事ができなくなる心配、そして家族の心配等様々な不安が突然身に降りかかってきます。本来これらのすべての問題に対して医療が人に寄り添い解決できれば理想です。人の心に寄り添うことは、患者様の社会環境、精神面、さらには人生観を理解することが必要ですが、それは極めて困難なことです。しかし私はこの理想に少しでも近づきたいと思っています。

患者様から「先生のおかげで元気になられました」と声をかけていただくと、喜びを感じ勇気づけられます。患者様が何を望んで治療を希望しているかを熟考し、患者様から信頼されることを目標にし、今後も診療に臨んでいきたいと思っています。

いけ だ しゅん いち
婦人科 池田 俊一





教えてドクター!

泌尿器科

前立腺がんの確定診断に至るまでの流れ

PSA高値が見られた患者様のその後はいかに!?

はつとり よし のり
服部 美徳

2023年10月より赴任させていただいております泌尿器科・服部 美徳と申します。私は、泌尿器領域の中で外来に加えて、良性疾患である前立腺肥大症の手術から膀胱腫瘍などの悪性腫瘍の手術といった幅広い分野を担当しております。

その中でも前立腺がんの診断と早期発見により力を入れており、その件数を増やしていきたいと考えております。

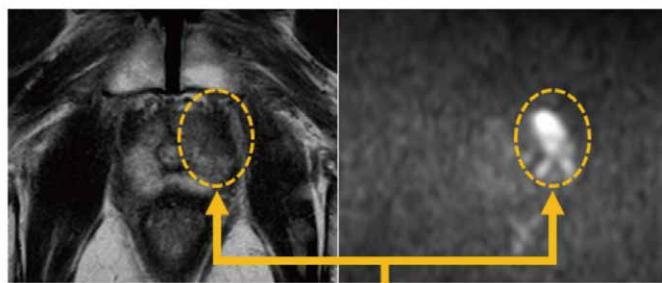
今回は前立腺がんの確定診断に至るまでの診療の流れを説明させていただきます。前立腺がんは男性の悪性腫瘍の中でも非常に罹患率が高い腫瘍であり、日本人の高齢化や PSA 検査の普及により今後も増加していくと考えられています。

当院では、健康診断や近医で、PSA 高値を指摘され受診されるケースが多いです。前立腺炎や機械的刺激で一過性に上昇している場合もあり、そのために再検します。

再検し高値が持続している場合は MRI にて精密検査を行います。当院では 3 テスラ MRI を導入しており、高解像度の撮影により従来に比べ精密な診断を行うことができます。

T2強調画像

拡散強調画像

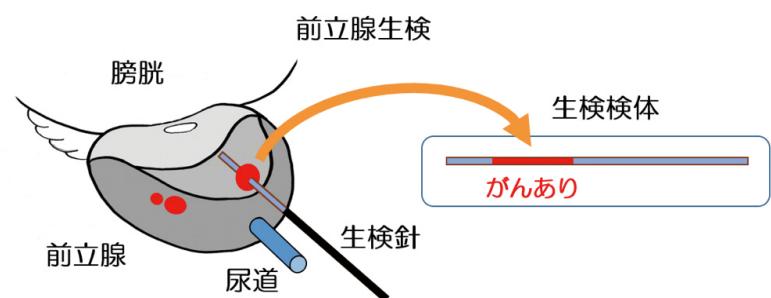
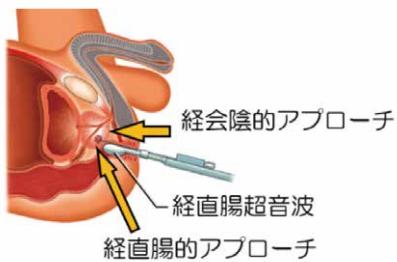


がんを疑う所見

上記の結果、悪性腫瘍が疑わしい場合、確定診断のために前立腺生検による組織検査を施行します。方法としては経会陰的アプローチと経直腸的アプローチがあり、当院では全身麻酔下に前者を選択して行なっております。

その後病理学的にがん細胞の有無を確認し、確定診断とさせていただいております。

アプローチ方法



その他に PSA 前駆体である phi (プロステートヘルスインデックス) という特異的なバイオマーカーの測定も最近導入しており、診断の補助として使用しています。

近隣の先生方と更に連携を取り合うことで患者様により良い医療を提供できるよう尽力しますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

診療科のご紹介

眼科

部長 かみ
上 順子 じゅんこ

皆様の目の健康を守ります

我々は外からの情報の8割を視覚、つまり見ることを通して得ています。超高齢化社会に突入するに当たり、加齢による眼の病気は益々増えています。優良な視力、Quality of Vision (QOV) を生涯維持することはQuality of life (QOL) を維持する上でとても重要です。

当科は緑内障、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症や糖尿病網膜症などの治療に力を入れています。薬物療法、硝子体注射療法、レーザー治療などの中から、患者様と相談の上、眼の状態に応じた最善の治療を選択していきたいと思います。特に糖尿病網膜症については総合病院の眼科という特徴を生かして、各科と連携しながら診療をしています。レーザー装置は痛みの少ないパターンレーザーを導入しています。

手術は主に白内障手術を行っています。昨年度新しい超音波白内障装置を導入し、より安全で低侵襲な手術が可能となりました。片眼は日帰り入院、1泊2日、両眼は4泊5日の入院としています。新型コロナウィ



ルス感染症から類に移行し、外出する機会が増える中、患者様には再び良好な視力を取り戻す喜びを味わって頂きたいたいと思います。

眼科は月曜日から金曜日まで、常勤2名体制で診療しています。予約制ですので予約の上お越し下さい。急に具合が悪くなった場合は午前11時までお越し頂ければ診察可能ですが、予約の方が優先となります。

微力ながら地域の皆様のお役に立てるよう、患者様に寄り添った診療を心がけていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション室

リハビリテーション 副士長 まつだ てつや
松田 哲也

地域に根ざしたリハビリを

独) 地域医療機能推進機構に属する当院リハビリテーション室にはリハ専門医のもと、理学療法士(PT)10名、作業療法士(OT)4名、言語聴覚士(ST)1名が在籍し、法人名の通り地域に必要な急性期から在宅までのリハをシームレスに提供しています。整形外科では骨折などの一般的な疾患に加え、肩肘外来、手の外科外来などの術前並びに後療法を行い、循環器では心大血管リハを4名の心リハ指導士の資格を持ったPTが外来も含め訓練を行っています。その他、脳血管疾患、COPD、顔面麻痺、失語やその他高次機能障害、廐用症候群、嚥下障害など幅広い分野



のリハビリを実施しています。通院訓練が困難な場合はPT、OTが医療、介護どちらの保険でも訪問リハを行なっています。また、本年5月に増床した2つの地域包括ケア病棟にはそれぞれに専従のPTを配置し対象者の状態に即した訓練を提供しています。当院リハ室は地域のニードに合わせ、何が必要か学び続けていきたいと考えています。対象者の方に何かしらのリハが必要と感じた時は、当院、地域連携室へ遠慮なくご相談下さい。

連携医療機関のご紹介

9 白金台おがわクリニック

院長 小川 悅郎
お がわ じゅん ろう

地域のかかりつけ医として

専門性を生かしながら地域の病院との懸け橋を目指します。



当院は高輪台駅と白金台駅から徒歩5分の住宅街にあります。2017年に開業し、今年で6年目になりました。

私の専門は糖尿病、脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病や甲状腺疾患を中心とした内分泌代謝内科です。

また、副院長が内視鏡専門医であり、上部消化管内視鏡検査や超音波検査なども行っており、消化器系の患者様を診察させていただく機会も増えました。

インスリンポンプ療法(CSII)や皮下連続式グルコース測定(CGM)などの専門的な治療も行っていますが、地域のかかりつけ医として幅広く内科の診察をしております。東京高輪病院は当院からの距離も近いため、患者様をご相談させていただく機会も多く、いつも親切に対応していただいていることに感謝しております。また、昨年3月まで東京高輪病院にて内分泌代謝内科の外来診療をやらせてもらっていたため、個人的に非常に親近感を持っております。

新型コロナウイルスの流行期には、当院で対応しきれない発熱患者さんの受け入れなどをしていただきました。また、当院へ飛び込みで受診した急性心筋梗塞の患者様の救急車も速やかに受け入れていただき、適切な対応のおかげで、患者様が無事回復されたことは記憶に新しいです。



これからも東京高輪病院の先生方やスタッフの皆様と積極的に交流させていただき、安心して患者様をご紹介いただけるクリニックを目指していきます。お時間があれば、どのような診療をしているかお気軽に見学にいらしてください。今後もどうぞよろしくお願い致します。

東京都港区白金台3-8-3 TEL.03-6447-7081
<https://shirokanedai-ogawaclinic.com/>



10 医療法人社団 白慈会 白金坂の上診療所

院長 井上 幸彦
いのうえ さち ひこ

皆様の「かかりつけ医」として

地域に密着して 20 年、守り神を目指します



大学病院に勤務し、救命医として医療に従事していた時に人の命の尊さを大切に感じ、身近な地域に密着し、そこに住まわれる皆様のお役に立ちたいという志を持って20年前診療所を開設いたしました。患者様の些細な心配には何でも寄り添う「かかりつけ主治医」として病気や老化の予防をはじめ日々抱えているちょっとした不安もどうぞお気軽にご相談ください。

当院は内科 皮膚科 形成外科 小児科 アレルギー科 放射線科 整形外科を基本とした保険診療、更に美容皮膚科外来を設け今は再生医療にも力を入れております。

また健康診断、港区特定健診から人間ドック、企業健診、産業医、各種予防接種も実施して幅広く診療しております。



「東京高輪病院」との連携

当院は多くの診療科目を標榜しており、様々な大学病院と連携を取っていますが同じ港区で近隣病院ということもある、「東京高輪病院」とは緊密な連携を図ってこれまで多くの患者様を紹介させて頂いております。

病院連携を通して、地域にお住まいの方を一緒にお助けし、地域医療と一緒に貢献する事で地域の守り神の様な存在になりたいと考えております。



東京都港区白金台4-7-8 2F TEL.03-3447-3232 <https://www.shirokane.ne.jp/>



7月から婦人科と血管外科を開始いたしました。形成外科は4月から着任した大塚医師により、これまでより診療の幅と品質が格段に向上しています。コロナ対応のために休床としていた6F病棟を5月8日から再開し、地域包括ケア病床を49床から81床に増やしました。クリニックや在宅からの受け入れを進めておりますので、積極的にご利用ください。

院長 山本順司